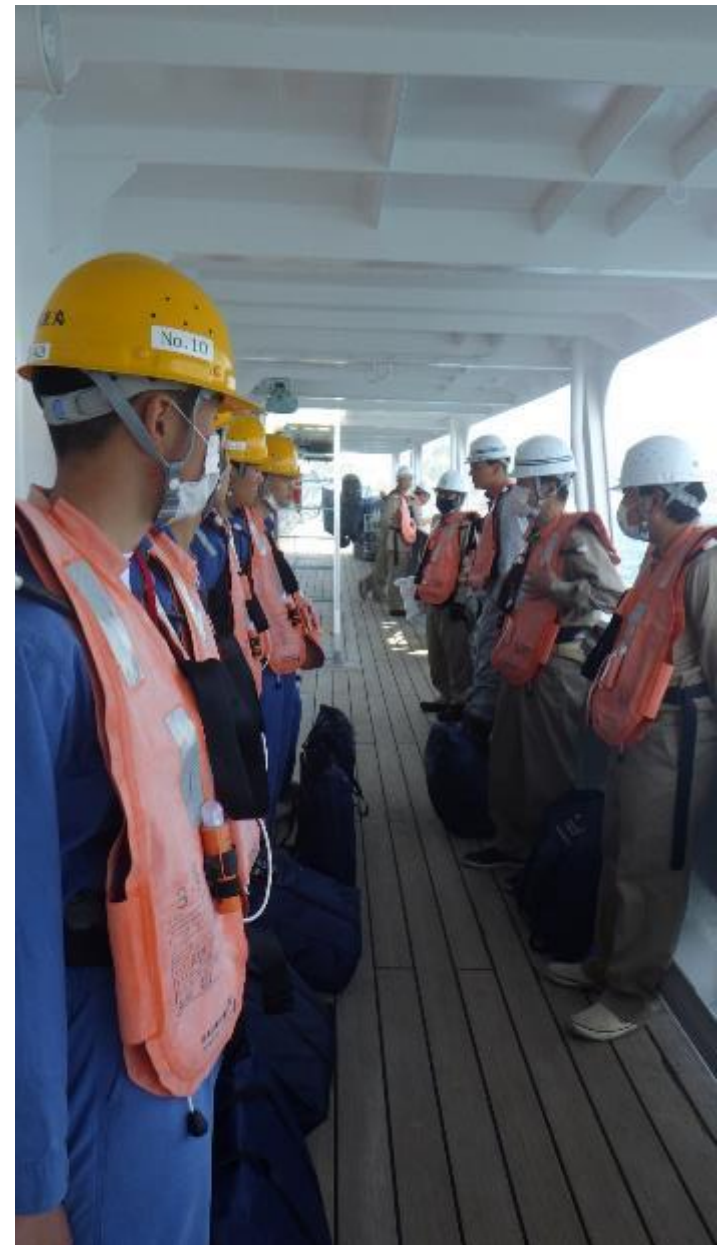


海友丸通信第1号

令和5年5月17日

「航海系」

- (I. T) 陸から離れ、さらに恋人からも離れて太平洋での船内生活が始まり約二週間経った。早く陸に帰りたい、早く彼女と会いたい。残り一ヶ月半長いけれど気持ちで乗り切りたい。
- (I. R) 乗船してから少し経って感じたことは、陸を見たいと感じました。あと一ヶ月半静岡に入港するまで頑張りたいと思います。
- (O. W) 海友丸での実習を通して、集団生活の大切さを実感しました。船内は一人だけで生活が出来ず様々な人たちのおかげで船内生活をおくれていることを実感した。
- (K. S) 早く帰って家の美味しいご飯を食べたい。
- (K. F) 海友丸での実習が始まって約二週間が経ちました。船内での生活にも慣れてきました。マグロをいっぱい獲れるように頑張ります。
- (T. W) 乗船してから少し経って思ったことは早く帰りたいです。早く帰って釣り（アジング）をしたいです。あと一ヶ月半頑張りたいです。
- (N. H) 船酔いにも慣れて考えごとをする時間が増えたため将来について考える良い機会になった。とりあえず彼女に会いたい。残りの一ヶ月半もいいものにできるように頑張る。
- (B. W) 拝啓、石川先生そちらはいかがお過ごしでしょうか、石川先生に会えずに寂しいですが精一杯頑張ります先生も柔道頑張ってください。敬具
- (H. R) 今回の乗船実習で感じたことは二ヶ月の乗船はとても長いけれど、実際は色々作業や当直などとても忙しく大変きついです。
- (H. A) 二ヶ月航海が始まって、最初は船の生活にはあんまり慣れなかったが少しずつ慣れてきて今は楽しく生活しています。



「機関係」

- (K. R) 乗船してから二週間が経ちましたが、案外思ったより時間が過ぎるのが早く感じます。親や友達とライン、ゲームが出来ないことが悲しい。
- (S. T) 乗船してしばらくたち、周りをどこ見渡しても海しかなく早く陸を見たいです。頑張って操業を終わらせて元気に帰ってきます。
- (F. R) 5月11日実習が始まってから10日経った。船内生活には慣れてたが、未だに船酔いを克服できずにいる。早く釣りにいきたい。
- (Y. M) 船内生活はとても厳しく、精神面で鍛えられている。携帯は使えずに行動も制限される、当たり前の生活がどれだけありがたいか実感した。
- (Y. T) 乗船当初は船酔いが凄くてとても辛かったけれど、今は少し慣れてきて、作業を頑張っていきます。操業が始まるので頑張って取り組んでいきたい。
- (Y. M) はじめは船酔いしていたので、船を降りたかったが今は慣れてきて楽しいです。早く寮の飯を食べたいです。



指導教官の一言

長崎を出港して、2週間近くが過ぎました。生徒一同船酔いにも慣れてきて病気、怪我無く元気にごしています。

操業も始まって忙しくなり生徒たちも初めて見る大きなマグロやカジキに興味津々で実習に臨んでおり、この貴重な体験を就活や学校生活に活かしてもらえると嬉しいです。

日本まで一ヶ月近く安全第一で病気、怪我無く帰ってきます。

指導教官 江頭健太